



棟施工方法の耐震試験

淡路瓦工業組合で6月23日、全日本瓦工業連盟の要請を受け棟回転試験が行われました。同連盟が奨励するガイドライン工法で施工された住宅は東日本大震災でも屋根や棟の被害が非常に少なかった事から、さらにこの工法を推し進めるため、現在のし瓦

7積みしか記載例が無かったため、今回アメリカでハリケーン対策用に開発された瓦専用接着剤「ポリホーム」を使用し、のし瓦16段積みガイドライン準拠試験を行いました。全国から同連盟の関係者約90人が見学に訪れました。同組合では「今後も淡路か



▲全瓦連では「ガイドライン工法はすでに東日本大震災の復旧に活用しているが、新工法は和形屋根の復権に必須である」と確信している

全日本瓦工業連盟

支援物資を再活用



▲全国から七ヶ浜町に集まった支援物資を販売

ショッピングセンターシアパで6月4日、5日の2日間「頑張ろう東北・支援バザー」が開催されました。このバザーは被災地を支援している東北地方太平洋沖地震復興支援ネットワーク淡路島と連合婦人会（奥井光子会長）の人

たちで運営、販売を行いました。販売された品物は、冬物の衣類や下着、靴下など約2t。同支援ネットワーク淡路島が支援物資を宮城県七ヶ浜町に届けた際、同町が使用せず保管に悩まされていた衣類を持ち帰りました。商品を選別し、状態のよいものを今回のバザーで販売し、義援金を被災地に送ります。牧浦せつ子さん（福良）は「東北が早く元気になってほ



▲シアパでの2日間のバザーで義援金22万2325円が集まりました

しい。少しでも協力できれば」と買い物に来ていました。同支援ネットワーク淡路島の木村幸一代表（淡路市）は「現場の状況は刻々と変わっている。今後も被災地のニーズに合わせた対応をしていきたい。」と話していました。

郷土力士が来庁

照強・善富士

「技量審査場所」となった5月場所を終えた2人の郷土力士、伊勢ヶ濱部屋の照強（福岡翔輝さん）が5月24日に、また、同部屋の善富士（南聖也さん）が5月26日に、市役所を訪れて中田市長に近況を報告しました。応援していただいている故郷の人たちに伝えるよう、さらなる稽古に励んで、昇進への意欲を語りました。



▲照強(福岡翔輝さん)5月24日来庁



▲善富士(南聖也さん)5月26日来庁

地元特産品PRイベント



▲「玉ねぎ」と大声をだして声の大きさを競うゲーム

イングランドの丘で6月4日、5日、11日、12日の4日間、オニオンピック2011が行われました。このイベントは今年で3回目。地元特産

オニオンピック2011

の玉ねぎをPRするため、玉ねぎの振舞いや玉ねぎアイスの早食い競争、玉ねぎを引き抜き重さを当てるゲームなどが行われました。

「玉ねぎ」と大声で叫ぶゲームに参加し優勝した春名優大くん（4歳・神戸市）は「淡路の玉ねぎは甘くて美味しい。生で



▲玉ねぎのエキスを混ぜこんだアイスクリーム。玉ねぎの甘みを感じられます

スライスして食べるのが大好き。今日はゲームで大声を出して気持ちよかった」と笑顔で話していました。

地元での魅力あふれる挙式をPR



▲グループが同イベントに参加するのは今年で2回目となります

イングランドの丘で6月19日淡路ブライダルフェスティバル2011が行われました。同イベントはホテルや美容室、写真館などブライダルの関連企業などを含む実行委員会が主催。模擬挙式や

ファッションショーが行われました。モデルには、市の歴代成人式実行委員などで結成されたFRONTIERSと来年の新成人たち16人が結婚への夢や希望を与えたいと参加しました。



▲模擬挙式でウェディング姿を披露するグループ代表の真野あかねさんは、「今後も若い力で地元のよさをPRしたい。そして少しでも若い人たちが戻ってきてくれれば」と話していました

鬼板師川崎忠之さん

発泡スチロールの巨大鬼面

高さ幅が2.5mある発泡スチロール製の鬼面。「見る人に衝撃を与えたい」と2月に神戸で開催された企画展に鬼板師川崎忠之さん（津井）が制作したものです。川崎さんは大学卒業後、淡路や静岡県の鬼板師の元で修行し、現在津井の工房で主に鬼瓦を制作しています。同鬼面は発泡スチロールを電熱線で切り、ワイヤブラシで表面を削り波打たせた質感を作り迫力を出させました。

川崎さんは、「コンペやイベントがあればまた展示したい。運ぶのは大変ですが、みなさんに鬼の不思議な魅力を知ってほしい」と笑顔で話していました。



▲削る際、発泡スチロールは粘土に比べ足りない部分の付けが難しかったと話す川崎さん



▲マップはA3カラー。島内の主な観光施設や犬連れでいけるレストランや宿泊施設など19施設や動物病院などが掲載されています

愛犬とともに淡路を満喫

南あわじ情報コミュニティ

NPO法人南あわじ情報コミュニティが3月に淡路島わんちゃん観光マップを完成させました。同法人は島内の情報をネットで発信している団体。愛犬とともに淡路を満喫してほしいと、くうみ協会の助成金を得てマップを作成しました。同法人の沼田浩孝理事（神代）は「淡路への観光客の1割以上は犬を連れた観光客です。島内には犬とともに観光する施設や飲食店が多くなってきたので、多くの人に利用していただきたい。情報収集し、また秋に施設をより充実させたマップを作成したい」と話していました。

※マップは主要観光施設に設置されています。また「まるごと淡路島」というホームページからもダウンロードできます

カッターで仏像を制作

川上彰さん



▲使う材木は主にヒノキ。彫る際、川上さんは「顔が人間になってしまい仏の顔を作るのが難しかった」と振り返ります

丹念に彫られた53体の仏像。これらの作品は津井地区公民館長の川上彰さん（津井）がカッター1本で丁寧に木を彫り作り上げた作品です。中学校の技術科担当教諭でもあった川上さんは5年前奈良で十二神将立像を見て感動を覚え、仏像を作り始めました。写真を参考に、弥勒菩薩や千手観音像、阿修羅像なども手がけ、先月広田で作品展を行いました。川上さんは「ものづくりをするのは楽しい。機会があれば地域の子もたちにもものづくりの楽しさを伝えたい」と笑顔で話していました。